

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》加藤 聖子（非）

【概 要】

学生が持っている生活観は、各々の生活背景や生活史によってさまざまであり、障がいのある人や高齢者の生活を理解するのが難しいと考えられる。

なじみのある居住環境のもとで家事という私たちすべての日常生活の中に存在する具体的な生活支援の過程で、どのようにニーズを発見していくか、それをどのように具現化し、他職種と連携・協働していくかなどを学習する。介助を必要とする人の生活を重視し、個性性を尊重し、幅広い生活上の援助を行うための基礎となる技術を習得していく。

【学習目標】

介護を要する人たちが尊厳をもってその人らしく暮らせるよう、現在の状態を把握し、潜在能力を引き出し、自立を目指してできる可能性を伸ばし、個性を重視した介護の展開ができるよう、安全に生活援助できる技術や知識を習得することを目標とする。

本講義では生活支援における居住環境整備や家庭生活にかかわる基本知識を学ぶことに重点を置き、さらに家事支援の意義と目的を理解し、さまざまな場面に応用できる技能の習得を目指す。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	生活を理解する視点、生活支援の基本的な考え方	加藤
2	家庭生活の理解	家族の概念・構造や形態、家族観の多様化	加藤
3	家庭生活の理解	生活設計の考え方、家庭経営、家計の管理	加藤
4	家事支援の意義と目的	自立生活を支える意義と目的	加藤
5	家事支援の意義と目的	家事支援におけるアセスメントとICFの考え方	加藤
6	生活支援における居住環境整備の意義と目的	居住環境の整備	加藤
7	生活支援における居住環境整備の意義と目的	生活空間と介護	加藤
8	生活支援における居住環境整備の意義と目的	居住環境のアセスメント	加藤
9	安心で快適な生活の場づくり	住まいの場における工夫・留意点 快適な居住空間	加藤
10	安心で快適な生活の場づくり	住まいの場における工夫・留意点 快適な室内環境	加藤
11	安心で快適な生活の場づくり	住まいの場における工夫・留意点 住宅のバリアフリー化	加藤
12	安心で快適な生活の場づくり	集団生活の場における工夫・留意点 施設空間を住まいにする工夫	加藤
13	安心で快適な生活の場づくり	高齢者・障がい者の住まい 現状と取り組み	加藤
14	安心で快適な生活の場づくり	高齢者・障がい者の住まい 現状と取り組み	加藤
15	安心で快適な生活の場づくり	高齢者・障がい者の住まい 現状と取り組み	加藤
16	家庭生活の営み	被服生活の基本知識 被服の機能、素材	加藤
17	家庭生活の営み	被服生活の基本知識 被服の管理 洗濯	加藤
18	家事支援における介護技術	被服実習 裁縫の基本	加藤
19	家事支援における介護技術	被服実習 裁縫の基本	加藤
20	家庭生活の営み	食生活の基本知識 栄養の理解 炭水化物	加藤
21	家庭生活の営み	食生活の基本知識 栄養の理解 脂質	加藤
22	家庭生活の営み	食生活の基本知識 栄養の理解 たんぱく質	加藤

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
23	家庭生活の営み	食生活の基本知識 栄養の理解 ミネラル	加藤
24	家庭生活の営み	食生活の基本知識 栄養の理解 ビタミン	加藤
25	家庭生活の営み	栄養素まとめ 確認テスト	加藤
26	家庭生活の営み	食生活の基本知識 食品の購入と選択、食品の安全性、食中毒	加藤
27	家事支援における介護技術	献立に基づく栄養価計算	加藤
28	家事支援における介護技術	高齢者・障がい者向けの食事 食品の調理性、技法	加藤
29	家事支援における介護技術	生活習慣病対策の食事 食品の調理性、技法	加藤
30	家事支援における介護技術	生活習慣病対策の食事 食品の調理性、技法	加藤

【評価方法】

レポート（70％）講義中のミニテスト、レポート、実習への参加意欲（30％）から総合的に評価します。

【備考】

教科書：『新・介護福祉士養成講座 生活支援技術』中央法規

【学習の準備】

ミニテストを実施しますので、毎回の講義の復習をしっかりとおくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3,4

【実務経験】

高等学校教諭（家庭科）

【実務経験を活かした教育内容】

高等学校教諭（家庭科）としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。